

第1段階学科教習勉強用問題2

- 問題 1 この標示は、午前7時から午前9時までの間、普通自動車は通行することができないことを示している。
- 問題 2 アンチロックブレーキシステムを備えた自動車で急ブレーキをかける場合は、システムを作動させるため、一気にブレーキを強く踏み込み、そのまま踏み込み続けることが必要である。
- 問題 3 坂道で近くに待避所があったとしても、下りの車が上りの車に道を譲るのが、運転者としてのマナーである。
- 問題 4 このような交差点ではA方向からくる車は、徐行する必要はない。
- 問題 5 歩行者の側を通行するときは、歩行者との間に安全な間隔をあけるか、徐行しなければならないが、歩行者が路側帯にいる時はその必要がない。
- 問題 6 この信号に対面する自動車は、一時停止すれば、他の交通に注意して交差点に進入し、通過することができる。
- 問題 7 止まっている車の側を通る時、その車に人が乗っていないかなどを注意する必要はない。
- 問題 8 自動車の運転者はもちろん、歩行者や自転車に乗る人も、自動車の死角、内輪差など自動車の特性をよく知ることが大切である。
- 問題 9 この標識のあるところでは、停止線の直前(停止線がない時は、交差点の直前)で一時停止しなければならない。
- 問題 10 同一方向に二つの車両通行帯がある時は、左側の車両通行帯を通行しなければならない。
- 問題 11 交通整理の行われている交差点を右左折する時も徐行しなければならない。
- 問題 12 警察署や消防署などの前に停止禁止部分の標示がされていても、それは緊急時の標示であるから、緊急時以外であれば、標示部分に入って停止してもかまわない。
- 問題 13 この標識や標示がある専用通行帯では、路線バス、小型特殊自動車、原動機付自転車、軽車両以外の車は通行することができない。
- 問題 14 自動車に乗ってからドアを閉める時は、強く力を入れて一気に閉めるとよい。
- 問題 15 路線バスなどが方向指示器などで発進の合図をしている時でも、まだ発進する前であれば、後方の車はバスなどの前方に出てもよい。
- 問題 16 普通自動車は、右左折する場合や工事などでやむを得ない場合を除いて、この標識のある車両通行帯を通行してはならない。
- 問題 17 運転者は、同乗者が車から乗り降りする際、ドアの開け閉めまで注意をする必要はない。
- 問題 18 オートマチック車で、エンジン始動直後やエアコン作動時は、エンジンの回転数が低くなっているため、アクセルペダルを強く踏むようにする。
- 問題 19 この標識のあるところでは、原動機付自転車は通行できる。
- 問題 20 普通免許で小型特殊自動車の運転ができる。
- 問題 21 車両通行帯のある道路で、標識や標示によって進行方向ごとに通行区分が指定されている時は、緊急自動車の接近などやむを得ない時以外は、指定された区分に従って通行しなければならない。
- 問題 22 左側部分の道幅が6メートル未満の見通しのよい道路では、標識や標示によって追い越しが禁止されている場合や対向車がある場合を除いて、道路の中央から右側部分にはみ出して追い越しすることができる。
- 問題 23 この標識は、この先の交差する道路が優先道路であることを示している。
- 問題 24 園児の乗り降りのために止まっている通学通園バスの側を通る時は、徐行して安全を確かめなければならない。
- 問題 25 このような交差点を通行しようとするA車は、B車の進行を妨げてはならない。
- 問題 26 歩行者や自転車の側を通る時は、安全な間隔をあければ徐行までする必要はない。
- 問題 27 仮運転免許証のコピーを持っていれば、運転者を確認できるので、運転中は本物の仮運転免許証を持たなくてもよい。
- 問題 28 補助標識は、本標識の下に取り付けられており、規制の理由を示したり、規制が適用される時間、曜日、自動車の種類などを特定している。
- 問題 29 この標識は、時速50キロメートルを超える速度で追い越しするときは、はみ出してもよいことを表している。
- 問題 30 停留所で停止中の路面電車がある場合、安全地帯もなく、人が乗り降りしている場合は、後方で停止し、人がいなくなるまで待たなければならない。
- 問題 31 片側が転落する恐れがあるがけになっている道路で、安全に行き違えることができない時は、がけ側の車が一時停止して進路を譲らなくてはならない。
- 問題 32 この標識のある所では、停止線の直前で一時停止しなければならない。
- 問題 33 普通仮免許を受けた者は練習のためであれば、原動機付自転車の運転ができる。
- 問題 34 交差点を左折する時は、左側を通行している歩行者や自転車を巻き込まないように、あらかじめできるだけ道路の中央により、交差点の中心のすぐ内側を通行しなければならない。
- 問題 35 自動車検査証や自動車損害賠償責任保険証明書などは、自宅で保管し、運転中はその写しを持ってよい。

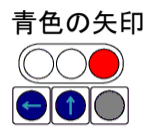
問題 36 オートマチック車で上り坂に駐車する時は、チェンジレバーをL、又は1に入れておいた方がよい。

問題 37 この標識がある道路は、原動機付自転車は通行することができる。



問題 38 信号待ちで停止中、急用を思い出したので携帯電話を手を持って使用していたが、対面する信号が青になったので、そのまま話をしながら発進した。

問題 39 交差点で右折しようとする自動車が、この信号機の信号に対面した時は、停止線を越えて交差点の中心まで進み、右折の青矢印に変わるまで待たなければならない。



問題 40 普通仮免許を受けた者が練習のため普通自動車を運転する時は、車の前後の定められた位置に「初心者マーク」をつけなければならない。

問題 41 ゆとりのある正しい運転姿勢は、ハンドルに両手をかけたとき、肘が水平になるようにシートの背を合わせるとよい。

問題 42 この標識は、原動機付自転車の右折を禁止することを表している。



問題 43 進路を変える時は、前後に車がない時でも、合図をしなければならない。

問題 44 この標識のある交差点で停止線がない時は、標識の直前で一時停止しなければならない。



問題 45 発進する時は、方向指示器などで合図をし、もう一度バックミラーなどで前後左右の安全を確かめるのがよい。

問題 46 子供が1人で歩いている側を通る時は、必ず一時停止をしなければならない。

問題 47 徐行する時は、徐行しようとする時の約3秒前に左の方向指示器で合図をする。

問題 48 一方通行の道路は中央から右側の部分にはみ出して通行することができるが、すぐに左側の部分に戻らなければならない。



問題 49 この標識は、どちらも同じ意味を表している。

問題 50 車両通行帯が黄色の線で区画されている場合でも、右折や左折の為であれば黄色の線を越えて進路を変えることができる。

第1段階学科教習勉強用問題2 解答

↓ ^{りしゅうばんごう}履修番号を教習項目に置き換えて、^{きょうほん}教本で調べて^{べんきょう}勉強してください。

もんだい 問題 1	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5	もんだい 問題 26	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 7
もんだい 問題 2	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5	もんだい 問題 27	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 10
もんだい 問題 3	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 9	もんだい 問題 28	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3
もんだい 問題 4	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6	もんだい 問題 29	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号5・9
もんだい 問題 5	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 7	もんだい 問題 30	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 7
もんだい 問題 6	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 2	もんだい 問題 31	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 9
もんだい 問題 7	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 7	もんだい 問題 32	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 2・3
もんだい 問題 8	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6	もんだい 問題 33	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 10
もんだい 問題 9	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3	もんだい 問題 34	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6
もんだい 問題 10	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 4	もんだい 問題 35	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 1
もんだい 問題 11	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6	もんだい 問題 36	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5
もんだい 問題 12	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3・5	もんだい 問題 37	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3
もんだい 問題 13	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5	もんだい 問題 38	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 1
もんだい 問題 14	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 8・ ^{うんてんきょうほん} 運転教本	もんだい 問題 39	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 2
もんだい 問題 15	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5	もんだい 問題 40	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 10
もんだい 問題 16	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5	もんだい 問題 41	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 1
もんだい 問題 17	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 1	もんだい 問題 42	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3・6
もんだい 問題 18	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 5	もんだい 問題 43	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 8
もんだい 問題 19	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3	もんだい 問題 44	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3・6
もんだい 問題 20	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 10	もんだい 問題 45	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 8
もんだい 問題 21	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6	もんだい 問題 46	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 7
もんだい 問題 22	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 9	もんだい 問題 47	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 8
もんだい 問題 23	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3・6	もんだい 問題 48	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 4
もんだい 問題 24	○	^{りしゅうばんごう} 履修番号 7	もんだい 問題 49	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 3
もんだい 問題 25	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 6	もんだい 問題 50	×	^{りしゅうばんごう} 履修番号 8

☆見直しのポイント

^{ふせいはい}不正解だった^{もんだい}問題や^{もんだい}わからなかった問題は、なぜ「○」なのか、なぜ「×」なのかを^{がつかきょうほん}学科教本を使って^{つか}理解できるまで^{べんきょう}勉強しましょう。→^{もんだい}問題で覚えると、^{おぼ}問題文が^{もんだいぶん}変わると^かわからなくなります。